

## 諸外国の母子保健施策に関する研究

堀口 貞夫,\* 網野 武博\*\*  
水野 清子,\*\* 千賀 悠子\*\*  
加藤 忠明,\*\* 兵藤 理絵\*\*

要約：今後のわが国の母子保健行政及び施策のあり方、具体的展開の内容、方法を検討するため、本年度は欧米主要国のうち、「米国における母子保健にかかわる必要なサービス」及び「英国における主要な母子保健の動向」について考察した。

見出し語：諸外国の母子保健、母子保健制度、母子保健施策

研究方法：「米国における母子保健にかかわる必要なサービス」については、AAP、ACOGなど専門団体の基準等をもとにまとめられたものをサービスの対象、小児の成長時期毎に検討した。「英国における主要な母子保健の動向」については、関係資料、文献及び調査資料に基づき検討した。

結果及び考察：

I 「米国における母子保健にかかわる必要なサービス」——資料省略

II 「英国における主要な母子保健の動向」

### 1 国家保健サービス（NHS）

NHSは、1946年に制定された『国家保健サービス法（National Health Services Act）』

によってすすめられている英国社会保障の重要な骨格となるサービス体系である。その原則は、「個人が健康な状態に在ること、そして必要な時、必要な所で有効かつ適切な医療等のケアを受けること」を企図した総合的な公的サービスを実施することにある。かつては、すべての国民に同じ水準の医療を目指し、世界的に福祉国家のモデルと目されたNHSも、近年、財政の逼迫と保守党政権の強力な福祉見直し政策により、公的サービスの軽減化の渦中にある。今日においても、原則として16歳未満の児童、妊婦、乳児を持つ母親、60歳以上の女性、65歳以上の男性、障害者、低所得家庭、特殊疾患をもつ患者は無料でサービスを受けることが

\* 愛育病院

\*\* 日本総合愛育研究所

できる。第1表にみるように、保健サービスにかかわるスタッフは減少していない。また、経費の85%は国家財政によって負担し、保険制度並びに患者負担の割合は低いようにみえる。しかし、現政権の下での医療、保健における公的負担から私的負担への転換は着実にすすみつつあり、近年のNHSサービスの人員不足、賃の低下や停滞を指摘する声は強く、とくに医療費の高騰がすすむ中ですべての国民に等しく同水準の医療を、という英国の社会保障制度にかけりがみられる。

## 2 フライマリー・ヘルス・ケア（PHC）

第1図にみるように、英国の保健サービスは一般医、家庭医等の地域保健専門家をベースとしたPHCにあることがその最たる特徴である。地区には、保健委員会、家庭医委員会がおかれ、保健当局と協力して地域、家庭保健サービスを実施している。最も基本的なサービスは家庭医等個人開業者によるサービスである。人口の97%が一般医（GP）制度に登録しており、約70%の国民が年1回以上GPの診療を受けている。第2表にみるように、GPはなお増加し、一人当りの患者数は減少している。歯科医も同じく増加しているが、一人当りの患者数はGPの約1.5倍以上である。眼科サービスは、1985年以降登録眼科医制による独占体制を改め、病院を含め柔軟なサービスが受けられるように改善された。薬局サービスは、日中に加え、夜間、休日は当番制を敷いている。近年、後述するようにグループ医の増加、保健センターの増設によって、薬局は年間約300局程度の割合で著しく減少している。

これら個人で開業している場合は、NHSの経費、拠出金及び実費による収入を得るが、医師、歯科医は日本とは異なった体系による診療費、診療手当を受け取り、眼科医、眼科技師、薬剤師は、サービス、処置の内容に応じた収入を得る。

さらに、PHCを担うものとして地区内における保健センターがある。NHS設立当初と異なり、近年はGP、家庭医が単独で開業する割合は非常に低くなり、グループ医療サービスなど複数メンバーによるものが80%を越えるに至っている。このうち25%は保健センター勤務の形態である。保健センターのスタッフは、第1図のメンバーに加えて必要に応じてPT、OT、STも参加しているところがある。

## 3 母子保健サービス

母子保健サービスは、これら家庭医等の個人開業者によるサービス、保健センターにおけるサービスがまずその基本を占めていることが特徴である。家庭医等は、母子のPHCを担い、より特別なケアが必要であると、私立病院、医科大学病院、総合病院等にケアをつなぐ。保健センターは、健康教育、家族計画サービス、健康診査、一般医療サービス、歯科サービス、眼科サービス、薬科サービスさらに外来ソーシャル・ワーク、訪問ソーシャル・ワークなど多種類の活動を担う。

訪問看護婦、訪問助産婦などのいわゆるヘルス・ビジターは、家庭を対象とした予防サービス、健康教育を実践する役割を担い、とくに妊婦、年少児、幼児の保健サービスに果たす役割が大きい。地域看護婦は、家庭、地域での保健

予防、健康教育、専門看護の役割を果たしている。助産婦は、家庭、地域の出産前ケアの一部を担い、出産後ケアの大部分を担っているが、とくに乳児を持つ母親の健診、援助、教育に重要な役割を果たしている点が、わが国と異なる大きな特徴である。地区には、保健センターよりさらに小さい単位で保健・福祉クリニックがあり、母性クリニックでは主として産前、産後の、また小児クリニックでは乳幼児の保健指導を上記の専門家たちが行っている。しか

し、母子の健診、保健指導は、わが国のように義務化されてはいない。

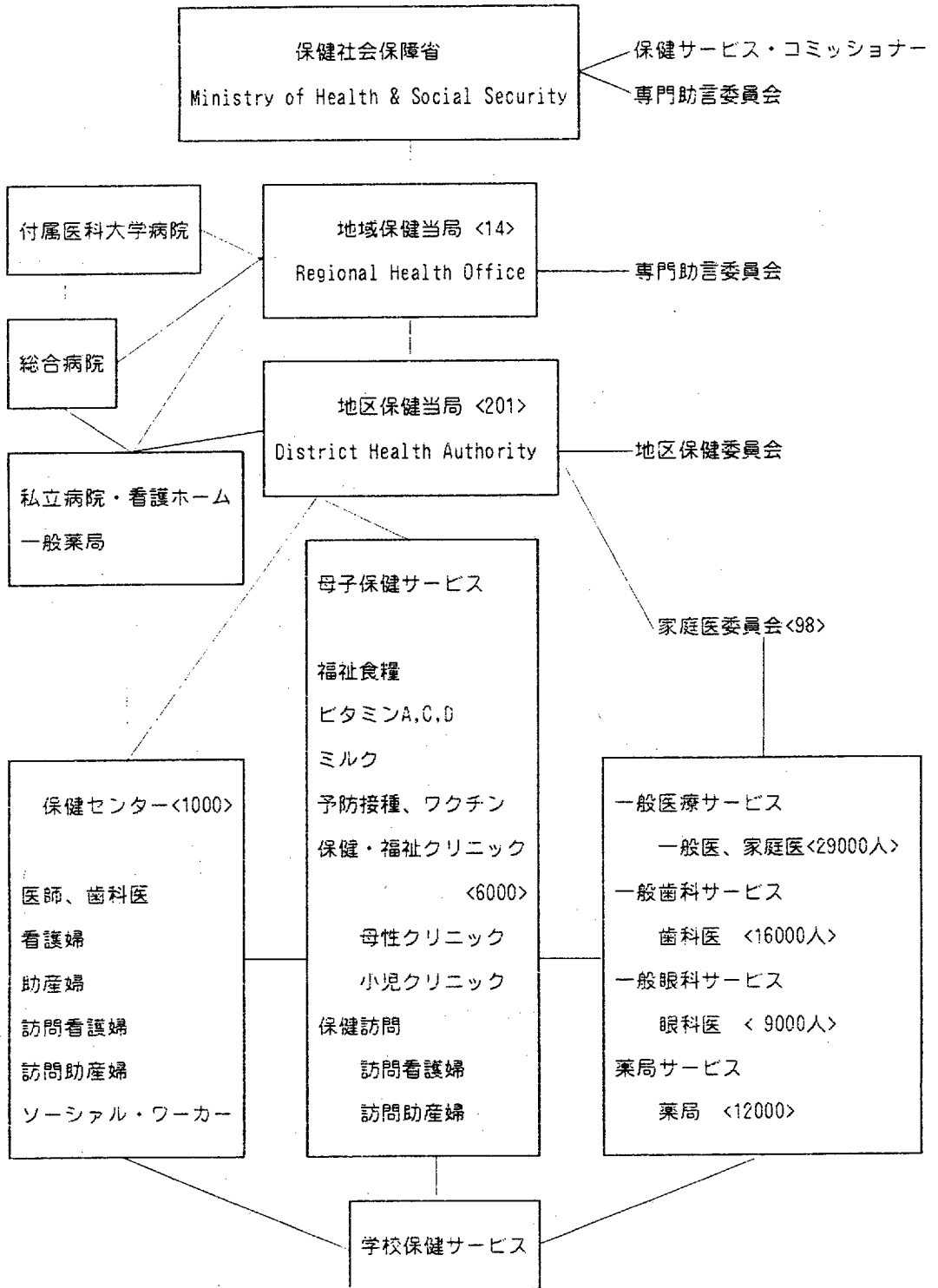
PHCを越える段階での母子保健サービスは、通常のNHSの体系によって、地区の総合病院などの病院スキームの中で実施される。近年、大規模な総合病院よりも、家庭、地域に近接した小規模の病院を設置し、よりきめ細かいサービスを提供する方向が示されてきている。さらに、公的な役割や負担を縮小し、私立病院・看護ホームなど民間レベルの医療強化を図

第1表 英国における保健サービスにかかわるスタッフの推移

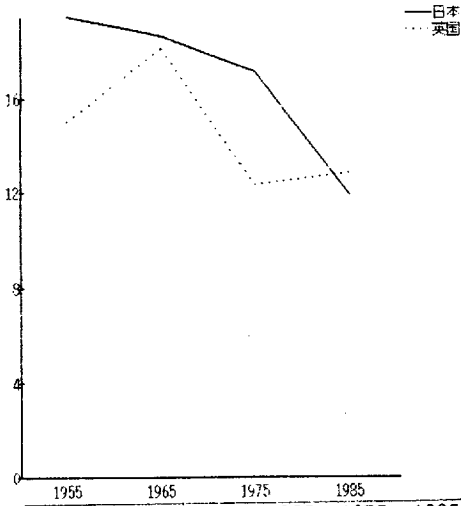
	Thousands					
	1976	1979	1981	1982	1983	1984
<b>Regional and District Health Authorities</b>						
Medical and dental	41.7	45.3	47.4	48.1	48.9	49.0
Nursing and midwifery (excluding agency staff)	429.6	449.2	492.8	500.6	502.0	500.8
Professional and technical (excluding works)	65.4	74.1	80.2	82.7	84.6	89.3
Administrative and clerical	116.6	121.8	129.1	129.6	131.0	131.3
Other staff (including ancillary, works, maintenance, and ambulance)	272.4	272.4	276.1	274.7	269.1	252.7
<b>Total Regional and District Health Authorities</b>	<b>925.6</b>	<b>962.8</b>	<b>1,025.6</b>	<b>1,035.7</b>	<b>1,035.5</b>	<b>1,023.1</b>
<b>Family practitioner services</b>						
General medical practitioners	27.1	28.5	30.1	30.7	31.3	31.9
General dental practitioners	13.6	14.4	15.2	15.7	16.2	16.7
Ophthalmic medical practitioners, ophthalmic opticians, and dispensing opticians	7.9	8.8	9.0	9.2	9.3	9.7
<b>Total family practitioner professionals</b>	<b>48.7</b>	<b>51.7</b>	<b>54.3</b>	<b>55.6</b>	<b>56.8</b>	<b>58.2</b>
<b>Dental Estimates Board and Prescription Pricing Authority/Prescription Pricing Division</b>						
	4.4	4.6	4.7	4.6	4.6	4.6
<b>Personal social services</b>						
Headquarters, area office, and field staff	..	53.8	55.0	55.6	57.1	58.4
Home help service staff	..	62.4	64.0	65.3	67.7	69.3
Other staff	..	126.1	131.9	134.3	138.1	138.6
<b>Total personal social services</b>	<b>228.2</b>	<b>242.4</b>	<b>251.0</b>	<b>255.2</b>	<b>262.9</b>	<b>266.3</b>

第2表 英国における一般医療・薬局サービス及び一般歯科医サービス

	General medical and pharmaceutical services					General dental services			
	Number of doctors in practice (thousands)	Average number of patients per doctor (thousands)	Prescriptions dispensed (millions)	Average cost per prescription (£s)	Average number of prescriptions per person	Average prescription cost per person (£s)	Number of dentists in practice (thousands)	Average number of persons per dentist (thousands)	Average number of courses of treatment per dentist (thousands)
1961	23.56	2.25	233.2	0.41	4.7	1.91	11.89	4.41	1.36
1971	24.00	2.39	304.5	0.77	5.6	4.28	12.45	4.47	1.97
1976	25.38	2.29	360.5	1.56	6.6	10.22	13.60	4.11	2.25
1981	27.49	2.15	370.0	3.46	6.6	22.97	15.19	3.67	2.23
1982	28.06	2.10	383.3	3.83	6.9	26.37	15.71	3.56	2.21
1983	28.66	2.06	389.2	4.17	7.0	29.16	16.19	3.48	2.19
1984	29.14	2.04	395.6	4.42	7.1	31.36	16.68	3.39	2.16
1985	29.66	2.01	393.1	4.77	7.0	33.42	16.97	3.33	2.17



第1図 英国における母子保健の体系



	1955	1965	1975	1985
日本・出生率	19.4	18.6	17.1	11.9
英国・出生率	15.0	18.1	12.3	12.8

出生率 …… 人口 1 0 0 0 対  
乳児死亡率 …… 出生 1 0 0 0 対  
周産期死亡率 …… 出生 1 0 0 0 対  
妊産婦死亡率 …… 出生 1 0 0 0 対

第2図 日英の出生率の比較

り、待機患者の増加による医療サービスや救急サービスの停滞を克服する方向が一段と強められている。第3図にみるように、日英の死亡率を比較すると、妊産婦死亡率のみ英国の水準が高い状況にある。

この他、母子保健サービスとしては、社会保障サービスの一環として、福祉食糧、ビタミン剤、ミルクの支給援助がきわめて古くから行なわれている。

第1表、第2表：

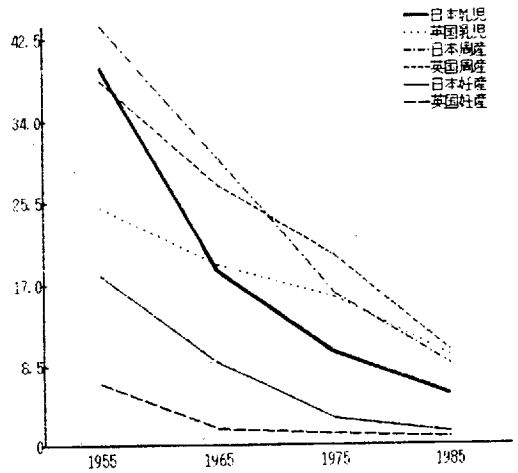
Central Statistical Office “ Social Trends NO 17 ” HMSO ,1987

第1図：

文献、資料を基に作図

第2図、第3図：

United Nations “Demographic Yearbook”



	1955	1965	1975	1985
日本乳児死亡率	39.8	18.5	10.0	5.5
英国乳児死亡率	24.9	19.0	15.7	8.7
日本周産期死亡率	43.9	30.1	16.0	8.7
英国周産期死亡率	38.3	27.3	19.9	10.1
日本妊産婦死亡率	17.7	8.8	7.7	5.8
英国妊産婦死亡率	6.6	1.8	1.3	0.9

第3図 日英の死亡率の比較

文献：

Court, S D M (Chairman) “ Fit for the Future The Report of the Committee on Child Health Services ” HMSO ,1976

W H O “ Sixth Report on the World Health Situation ” WHO ,1980

The Family Welfare Association “ Guide to the Social Services ” FWA ,1980

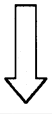
Byrne, T et al “ Social Services Made Simple ” Heineman ,1985

H M S O “ Britain An Official Handbook ” HMSO, 1986

Central Statistical Office “ Social Trends NO 17 ” HMSO, 1987

United Nations “Demographic Yearbook”

在英日本大使館調査回答資料 ほか



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:今後のわか国の母子保健行政及び施策のあり方、具体的展開の内容、方法を検討するため、本年度は欧米主要国のうち、「米国における母子保健にかかわる必要なサービス」及び「英国における主要な母子保健の動向」について考察した。